

Luncheon Linguistics, 24 October, 2018

2018（平成30）年10月24日

「メエ語の自他交替についての試論－2018年度メエ言語研修報告－」

発表者：青山和輝（東京大学大学院博士後期課程）

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催の2018年度言語研修「メエ語（エカリ語）」では、先行研究の乏しいメエ語パニアイ方言の母語話者を講師に迎え、参加者それぞれが簡単な言語調査を行う機会を得た。本発表ではその成果の一部として、メエ語の自他対応に関する調査結果を報告した。

研修期間に収集したメエ語（パプア諸語の一）の有対動詞群を見ると、自動詞から他動詞を派生する使役型、および自他同形型が大半を占め、反使役型は非常に少ない。また使役型と自他同形型を兼ねるもの、すなわち1つの自動詞に意味的に異なる2つの他動詞が対応する例が多数存在し、これらの統語論的競合関係を整理することが、メエ語を正確に記述するうえで今後重要な課題となることが示唆される。

また、メエ語では「動詞的な意味をもつ名詞類＋軽動詞」からなる句動詞が（多くのパプア諸語と同様に）頻繁に用いられるが、これらの多くは軽動詞の交替により自他を表し分ける両極型であり、自他同形は見られなかった。また少数ではあるが、対応する自動詞を欠く *kebai* 「開ける」のような他動詞の存在も特筆に値する。